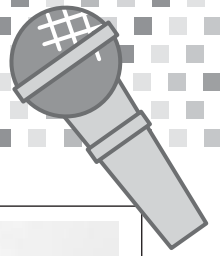


新規採用教員へのインタビュー



中司 雅人 なかつか まさと

赤磐市立赤坂中学校教諭
(令和2年度採用)

自己紹介

昨年4月に中学校教諭として採用され、今年は1年生と3年生の数学の授業を担当しています。部活動ではバスケットボール部の顧問をしています。バスケットボールは専門ではないのですが、生徒と共に成長していけるよう日々活動しています。趣味は大学生の時から続けている「うらじゃ」です。幅広い年齢層のメンバーと楽しく活動しています。

Q 教員を目指した理由を教えてください。

理由は二つあります。一つ目は、自身が経験した学校生活にあります。私は友人関係に恵まれ、毎日楽しい学校生活を送ることができました。特に、一つの目標に向かって皆で取り組み、一体感を得ることができた学校行事には、様々な思い出があります。教員になれば学校生活を生徒と送り、楽しかった学校行事に関わることもできると思いました。二つ目は、中学校での勤務経験がある両親の存在です。二人の姿を見たり、話を聞いたりしているうちに、教員としてのやりがいや楽しさを知り、教員の仕事に魅力を感じるようになりました。

Q 教員としてのやりがいについて教えてください。

自分の授業や指導によって、生徒の成長を見てとれる瞬間があることが大きなやりがいです。ちよつとしたことですが、生徒が授業で理解できなかった部分をそのままにするのではなく、放課後に質問に来るなどして理解し、次の小テストで問題が解けるようになっていく姿を見ると、自分の指導が生徒の成長につながっていると感じることで、仕事に対するモチベーションが上がります。

Q 仕事の中で気をつけていることは何ですか？

常に冷静で落ち着いて行動することを心がけています。適切な対応をするためには、どうすればよいかを考えてから行動することで、生徒のことを第一に考えた対応ができると考えます。また、昨年度の一年間は準備不足が原因でたくさん失敗し、周りの先生方に助けてもらっただけでした。そのため、今年度

は前もって準備することや、シミュレーションを繰り返し行うことを心がけています。

Q 授業で工夫していることや気をつけていることを教えてください。

数学のよさは、解法が一通りに定まらないところにあると思います。そして、自分自身にあった解き方で解を導き出せたときに数学の楽しさを感じます。授業では、一方的に解法を教え込むのではなく、個人で考える時間をとることやグループで自分の考えを発表する場を設けること、生徒が他の意見を取り入れ、自分の考えを深めることができるようになること等を意識しています。

Q 目指す教員像を教えてください。

自分の授業や教え方に自信をもてる教員でありたいと思います。公開授業や数学の教員が集まる勉強会で、自分の授業の工夫を紹介していただく先生がいらっしやいます。そういった先生方の姿を見て、私も授業の工夫を、自信をもって人に紹介できる教員になりたいと考えているようになりました。今は先輩方の工夫を自分の授業に取り入れながら、日々、教材研究に励んでいます。

Q 教員採用試験の対策について教えてください。

大学時代の友人の存在が大きかったと思います。大学四年生の春から数人のグループで、筆記試験の勉強や面接練習、模擬授業の練習をしてきました。国語の教員を目指している友人とグループを組むことが多く、他教科の視点での意見やアドバイスの大変参考になりました。また、勉強期間中はストレスもたまりやすいので、友人と会食をしたり、運動をしたりすることでストレスをためないようにしていました。

Q 休みの日は、どんなことをして過ごしていますか？

私は六年間、岡山市にある「うらじゃ」のチームに所属していて、休日はその練習に参加しています。チームには100人以上が所属し、学生から社会人まで幅広い年齢層で構成されています。学生時代には、『こいや祭り』や『つぼんど真ん中祭り』など県外の祭りにも積極的に参加してきました。「うらじゃ」を通じて得た経験や人間関係を、今後の教員生活で生かしていけたらよいと考えています。